

県内経済の動き

概況

〔5月～7月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（5月）と通関輸出額（6月 細島港）は、前月及び前年の実績を共に下回った。百貨店・スーパー販売額（6月 全店ベース）は3カ月連続で前年比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は9カ月連続で前年比増加した。新設住宅着工戸数（6月）は、4カ月ぶりに前年比増加し、公共工事（6月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年を上回った。有効求人倍率（6月：1.43倍）は前月比0.04ポイント上昇した。7月の企業倒産件数は、57カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、個人消費の一部に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。

（厚地）